

滋賀で家族になろう推進事業

現状と課題

○出会いの場がない
⇒出会いの場創出のための連携の場が必要
⇒社会全体で若者を応援する機運の醸成

○結婚をしたいという希望を持っているが、一歩踏み出せない方への後押し
⇒市町等の支援情報を一元化して発信

○仕事と、結婚・妊娠・出産・子育て等を見通したライフデザインについて学ぶ機会の不足
⇒妊娠出産・子育ての知識の提供、幼児とのふれあい体験の機会創出

目的

希望する人が結婚できるよう、社会全体で応援！



ネットワークづくり

機運の醸成、市町・企業・団体との協働

高校・大学等との連携

新 しが出会いサポート 地域連携推進事業

- オンライン型「(仮称)しが出会いサポートセンター」の運営
- AI等を活用したマッチングシステムを構築

★結婚を希望する方の会員登録制度を構築する。
★会員ができること
・マッチングシステムからお相手検索が可能。
・オンライン上で結婚支援コーディネーターからのアドバイスやフォローが受けられる。

あいはぐプロジェクト応援団事業

●ネットワークづくりの推進

★ネットワーク研修会・意見交換会の開催
★若者の出会いの場づくりを応援する企業・団体等のネットワークへの参画呼びかけ:R3末現在 33企業・団体が参画

●婚活応援情報の推進

★あいはぐプロジェクト応援団HPでの「婚活イベント情報」、「結婚支援員等による婚活コラム」等の結婚応援情報発信

●結婚を希望する方への後押しとなる情報発信 ●婚活イベントの実施

★「滋賀★花嫁応援割」および「滋賀★プロポーズ応援」等、結婚を希望する方への後押しとなる情報をSNS広告等を活用して発信する。
★結婚を希望する方への出会いの機会を創出する。

ライフデザイン形成支援事業

★若者が自らの進路を選択する際に就職のみならず、将来のライフイベントを踏まえた生活のあり方も視野に入れて総合的に考えるきっかけの提供を目的として実施
★幼児ふれあい体験活動や平成29年度に滋賀県が構築した大学生向けライフプランニングプログラムを始めとするライフデザイン講座を「県内の高校・大学・専門学校に通う学生」および「県内の企業に従事する社会人」を対象として実施する大学・団体等に対し実施経費を補助を行う
★1事業あたり10万円×12事業の支援を実施

新 しが出会いサポート地域連携推進事業

結婚を希望している方の出会いの機会を創出

AIを活用したマッチングシステム構築・結婚サポート体制を整備！

背景 未婚率の上昇と晩婚化・晩産化の進行

- ・未婚者(18歳～34歳)の結婚意思は、男女とも9割程度
- ・独身でいる理由は男女(25～34歳の未婚者)とも「**適当な相手にめぐりあわない**」が最も多く5割程度 (国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」)
- ・感染拡大前に比べ、**新たな出会いの機会が減少した未婚者が約3割程度** (『新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査』(2021年6月内閣府))

『結婚をしたい』という希望を叶えるための支援が必要！！

「滋賀で結婚をしたい！」希望が叶う滋賀県の実現

期待できる効果

- >若い世代の地域への定着
- >他府県からの移住促進
- >滋賀県の活性化！



オンライン型『しが出会いサポートセンター』(仮称)の整備

①マッチング支援

- ・マッチングシステムの構築・運用
- ・コーディネーターがオンライン上で結婚を希望する人からの相談受付、マッチングから成婚までのフォロー

②担い手・人材育成

- ・結婚相談員の育成研修・マッチングシステム活用研修の実施

③イベント・セミナーの開催

- ・システム登録者を対象とした婚活イベントや婚活に役立つセミナーの開催

④情報発信

- ・マッチングシステム登録会員募集(HP、SNS)
- ・「結婚の希望」を高め、「滋賀の魅力」を伝える情報を若い世代へ発信

マッチングシステムでできること

- ・自宅での会員登録、お相手検索
- ・AIからのお相手のお勧め受信
- ・オンライン上でのお見合い、コーディネーターへの相談



連携促進

市町や関係団体での取組

- ・結婚相談員がいる市町においては、システム登録者のマッチングから成婚までのフォローをきめ細かに実施
- ・婚活イベントの実施
- ・出張相談会の共催
- ・移住相談窓口と連携した事業周知